

2023年6月号 / No.246 / 令和5年5月16日発行



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



飛翔シリーズ (2) イカル飛翔 (多々市にて/撮影：秀島 泉さん)

野鳥さが 246号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 事務局便り-----2ページ
- シギチフェス2023 開催報告 -----4ページ
- 各地の探鳥会報告-----5ページ
- 皆さんからのおたより-----8ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----9ページ
- 探鳥会会場までの案内-----11ページ
- 探鳥会などのお知らせ（2023年5月末～7月）-----12ページ



役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】 2023年3月21日、4月16日、4月23日

【出席者】 3/21:14名 4/16:12名 4/23:15名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) コウノトリの営巣について

- ① 白石町でコウノトリが営巣している。 営巣見守りのシフトを決めた。
- ② 見守りシフトには、支部の役員以外の会員も積極的に入られた。

(2) コアジサシについて

- ① 諸富浄水場跡地にコアジサシ営巣地を今年も設けた。
- ② 白い砂利を地面に敷く、ネットを整備したりなど準備を行った。(4月1日~2日)

(3) 佐賀県支部総会について

- ① 6月4日(日)午後1時、会場は「ひがさす」
- ② 総会に向け議案書を点検した。記載漏れなどいろいろ修正が必要である。
- ③ 決算についての詳しい説明があった。さらにつめていく。
- ④ 役員体制などについてもいろいろ提案があった。

(4) その他、今後の探鳥会などについての協議を行った。



事務局便り

(事務局:青柳 良子)



(1) ようこそ 佐賀県支部へ!・・・支部入会者情報

支部報 245号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

4月入会者 3名(うち家族会員1名) 5月入会者 3名

佐賀県支部の会員は現在257名です。

新入会員の皆様! 積極的に参加してください。

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されてない方もいらっしゃいます。

是非いらしてください。お待ちしております!

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もあります。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通してどんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！
みんなの出し合う会費が！
自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。
お願いです。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？是非お誘いください。野鳥の会は「いつでも入会OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

(2) 支部総会開催のお知らせ

2023年度支部総会を下記日程で開催します。今年度の活動方針を決める大切な場です。これからも佐賀県支部を盛り上げていくためにも、ぜひ、多くの皆さんの参加をお願いします。

【日時】6月4日(日) 13:00~

【場所】東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」

佐賀市東与賀町大字田中 2757-4 干潟よか公園西側

※参加される方は事前送付の「支部総会議案書」をご持参下さい。

(3) コアジサシ営巣地近況報告

(報告：水田稔さん)

- ① 4月1日、2日に周囲のネット張り、デコイ・土管・レンガの設置を、有志の方々の協力を得て行いました。
- ② 4月2日にコアジサシ2羽が初来所。
- ③ 4月13日に営巣地にカキガラを追加で撒いた。海岸の砂浜に似せる為。
- ④ 4月24日、3巣が抱卵開始。

※ 5月3日現在：16巣で抱卵中、コアジサシ総数は40羽。

現在抱卵中は1巣を除き全てカキガラの中で営巣しています



コアジサシ営巣地整備開始



カキガラ撒き



抱卵中





シギチフェス2023開催！ 報告

(事務局：青柳良子)

5月6日(土) 9:00~15:30 ひがさす&日本野鳥の会共催

当日は「降水確率 100%」 という最悪の天気予報です。

準備する気持ちも沈みがちですが(日本野鳥の会の本部からもいらっしゃるし、全国へのライブ配信もあるし・・・)と気持ちを奮い立たせて「ひがさす 8:00 集合」を目指しました。芝生広場にテントを張る予定でしたがとても無理! ひがさすの中での開催になりました。

佐賀県支部としての取り組みは

- 1, シギ・チドリを主にした写真展(50枚)・・・4月19日(水)に準備は完了
- 2, 支部長:宮原明幸氏のお話「東よか干潟のシギ・チドリ」
- 3, 「ぱたぱたコアジサシ」を作ろう(工作)
- 4, 野鳥のシグソーパズルで遊ぼう
- 5, 巣箱の作り方と用材の販売
- 6, 「県鳥カササギ」への関心を高めよう・・・剥製の展示とバッジ販売
でした。(予定していたバードウォッチングと巣箱作りは悪天候のため中止)

(こんな大雨でどれだけの人に来てくれるだろうか・・・)と思いきや!

お子様連れの若い方が次々にいらっしゃって「ぱたぱたコアジサシ」作りも盛況でした。シグソーパズルも喜ばれました。何人の方が来られたかお名前を書いただけばよかった!と反省していますが、子供連れだけでも20組以上は楽しんでくださったと思います。巣箱も5個販売できました。ちなみに、ひがさすの入館者は400人ぐらいだったとのことです。予想以上の来館者でにぎわいました。

コアジサシの工作をしてくださった方には14日蓮池公園観察会に含めた「諸富の営巣地」見学のお誘いをしました。市民の方のコアジサシへの関心が高まるといいですね!

雨のおかげでコアジサシやカササギへの注目度が上がったかも知れません。

レクチャールームでは「東よか干潟」を全国へライブ配信したり サクソホーン、マリンバ、打楽器による「ミニコンサート」も開催されていて、来館された方はきっと満足されたことと思います。

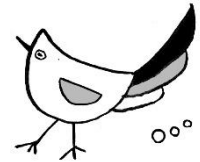
佐賀県支部会員は13名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。



(写真提供：水田 稔さん)



各地の探鳥会報告



■千葉城址探鳥会報告（小城市）

【日 時】 2023年3月26日

【参加者】会員17名（案内役：蒲原るみ）

【観察された野鳥】カルガモ、マガモ、コガモ、カイツブリ、アオサギ、ダイサギ、カワウ、クサシギ、イソシギ、トビ、キジバト、カワセミ、ヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ウグイス（声）、シジュウカラ、エナガ、メジロ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、アオジ（声）、ホオジロ、ミヤマホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ハシブトガラス、ツバメ、イワツバメ、コジュケイ（声）（31種）

【観察した花】桜、ムラサキケマン、シキミ、キンシバイ、ホトケノザ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、オドリコソウ、スオウ、アメリカフウロ、ウラシマソウまたはマムシグサ、アオモジ、ジロボウエンゴサク、キランソウ、スミレ

【案内役より】

前日からのあいにくの雨にも関わらず、会員16名の皆さんに参加いただきました。小雨が降ったり止んだりする中をゆっくりと歩きながら、祇園川沿いから千葉城址公園までのゆるやかな山道を観察しました。イソシギとクサシギの見分け方、カワセミのオスメスの見分け方、カモ類の大きさや交雑種について、道中の草花や木々など、会員同士で尋ねたり教え合ったりと和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

千葉城址公園につく頃にはすっかり雨も止み、満開の桜と展望台からの景色に春の訪れを満喫し、集合場所へ戻る間も鳥談義、花談義はつきませんでした。

コロナも一段落し、鳥仲間で会話をしながら観察することの楽しさ、発見の多さを再認識する観察会となりました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

■東よか干潟（大授搦）探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年4月9日

【参加者】会員27名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ムナグロ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、オオハシシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、キョウジョシギ、オバシギ、コオバシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、エリマキシギ、ズグロカモメ、セグロカモメ、コアジサシ、ミサゴ、トビ、ハシボソガラス、ヒバリ、メジロ、ホオジロ（43種）

【案内役より】

雨天のため2回中止となり、久々の東よか干潟での観察会です。当日は晴天、



無風です。堤防を下りて西に1km移動する。まずは黒くなった夏羽のツルシギを見る。東に戻りながら夏羽のムナグロ、コオバシギ、オオメダイチドリを見る。前日まで見られたアカツクシガモは残念ながら出現せず。天候に恵まれ、多くのシギ・チドリが観察されました。

(※3/21、5/6の東よか干潟探鳥会は雨天のため中止しました。)

■金立公園探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年4月19日

【参加者】会員21名（案内役：宮原明幸）

【観察された野鳥】ハチクマ、カワウ、アオサギ、ハチクマ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、シロハラ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、ハシブトガラス（15種）

【案内役より】

冬鳥が去り、夏鳥にはチョット早い、過渡期の探鳥会で鳥種の少ない結果となりました。

目玉は、早々と渡って来たハチクマ1羽が舞いました。

■馬渡島探鳥会報告（唐津市）

【日 時】 2023年4月23日

【参加者】会員5名 非会員1名（案内役：馬場 清）

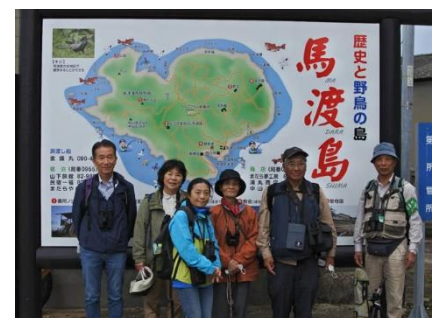
【観察された野鳥】トビ、アオサギ、ヒヨドリ、メジロ、ウグイス、センダイムシクイ、カラスバト（声）、イカル、コイカル（※）、ヤマガラ、ツバメ、スズメ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス（14種）

（※）コイカルは水田稔さんの写真による事後報告。（現地ではイカルと判断された）

【案内役より】

早朝は小雨が降っており中止も頭をよぎったが、唐津地区では雨は降っていなかった。7:30港に着く。駐車場は行楽や釣り人の車で満杯の状態だった。受付の準備をしていると、大和町のHさん、神埼町のMさん、佐賀市のMさん、小城市のKさん親子が来られました。出港時間が迫り、参加者も6名になる。8:30、馬渡島渡船「郵正丸」が接岸した。我々6名のほかは釣り人5~6名、キャンプの親子7~8名、島の方数名が乗船された。最大乗船定員23名の満席で出帆した。海は風もなく、波も穏やかな表情で大きく揺れることもなく、島に到着し下船した。すぐ、猫が寄り付く。どの道をどう回るかを話し合う。記念写真を来島者に撮ってもらう。

モデル指定校馬渡小学校の愛鳥指導時の2~3時間



コイカル
(写真提供：水田稔さん)

コースを回る事にした。

港湾にはトビが“わんさか”飛んでいる。坂道をゆっくり上るが鳥影は乏しい。本日目玉のカラスバトの鳴き声？はするが姿は見えず！ そうだ！今日の観察会は探鳥会に変更しよう！

我々は坂道を上り、もう、少し疲れを感じ始める。87才のKさんのお母さんはゆっくりだが一歩一歩確実に歩を進めておられる。“負けそう！”

途中でふれあい文化施設「馬渡館」外庭で小休憩する。メジロ、ウグイス、ヒヨドリ、センダイムシクイの鳥影を探しました。途中で島人にカラスバトの事を聞くが“それなに？”と全然話が通じない。以前訪問した際の畑田のほとんどが高いやぶになっている。島の中腹地区のキリスト教会や聖母園を回る予定を、時間が迫り諦めて下りかけた所で、イカル、イカル幼鳥、ヤマガラを発見し、初めてスコープを設置して幼鳥のフワフワ感の羽根を見れた。

カラスバトの姿、飛翔を最後まで望んだが次回探鳥会に回しました。

港の防波堤でランチタイムとする。すぐ、また猫が寄ってくる。岸壁は海底まで澄んでいて小魚、貝類、海藻類がきれいに見ることが出来ました。

13時発の渡船は立客も出る盛況ぶりでした。（写真はいずれも水田稔さん提供）

■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

【日 時】 2023年4月23日

【会 場】佐賀県立森林公園（佐賀市）

【参加者】非会員14名（会員スタッフ：8名）

【観察された野鳥】カワウ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オオバン、キジバト、ドバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、モズ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス（21種）

【案内役より】

今日は晴れて、爽やかな風が吹いてました。

9時前から参加者が次々に来られます。長崎市や大村市、福岡市、糸島市、唐津市から来られた方もおられました。非会員の参加は14名になりました。

観察を開始したもののしばらくは、鳥の声も姿もありません。しかし、初参加の女性が、シジュウカラを発見。しかもこのシジュウカラ、大きな木の幹に開いた狭い穴の中に潜り込みます。つまり、その穴は巣です。せっせとエサ運びをしていました。池では、マガモ、ヒドリガモ。嘉瀬川の土手からは、カワウやカモ類の姿を認めました。渡り損ねたのかミヤマガラスが1羽。

2時間あまりの観察の後、鳥あわせ。今回は野鳥の種類は21種類でした。参加者には楽しんでもらえたかなと思います。会員拡大につながることを期待します。



皆さんからのおたより



●「雷鳥冬羽に会いたい」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

雷鳥の真っ白な冬羽を見たくて4月末、鳥友さんたちと富山県 立山 室堂平に行きました。新幹線、特急サンダーバード、新幹線、電鉄、ケーブルカー、高原バスを乗り継いで10時間。終点標高約2500メートルのバスを降りるとそこは銀世界でした。宿は日本一標高の高いところにある「みくりが池温泉」です。そこまで雪道を歩いていく途中で雷鳥にあっけなく会うことができました。雷鳥は雪からでているハイマツに隠れて、つがいでいました。冬羽から一部夏羽に換羽が始まっていました。さらにもう1つがい、翌日に別のつがいの雷鳥に会えました。それぞれ自分たちのテリトリーを守るためか、人がそばを通過しても逃げません。朝はカヤクグリが飛び回り、愛らしい声で鳴きます。美女平（標高約1500メートル）は雪はほとんどありません。探索道を歩くと、初めて見るイワウチワ、ミツバオウレンに会えて大満足でした。



立山室堂



ライチョウのつがい



カヤクグリ



イワウチワ



ミツバオウレン

～野鳥さが原稿募集中～

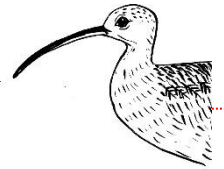
- ① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。
- ② 投稿・ご意見などをお寄せください。（編集部：馬場順一）

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp



皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

★今日の大授搦（東よか干潟）

【3月19日】ハジロコチドリ 1羽、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、ハマシギ、トウネン 6羽、コオバシギ、オオハシシギ 9羽、ツルシギ 12羽、コアオアシシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ 4羽、ダイシャクシギ、ホウロクシギ 30羽以上、チュウシャクシギ 1羽、クロツラヘラサギ 37羽、ヘラサギ 19羽、コサギ 5羽、ダイサギ、アオサギ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、コガモ、ヨシガモ、スズガモ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、アカツクシガモ

【4月8日】コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ 122羽、オオメダイチドリ 3羽、ムナグロ 5羽、ダイゼン、トウネン 7羽、ウズラシギ、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ 80羽、ミユビシギ 2羽、エリマキシギ、オオハシシギ、ツルシギ、コアオアシシギ 2羽、アオアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ユリカモメ、コアジサシ 4羽、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ツクシガモ、アカツクシガモ、シマアジ、オナガガモ

※シギチの種も増えてきました。

シマアジも今がピーク、総数 20羽程確認されてます。



シマアジ→

★その他の地区

3月19日 【白石町】スズメ、カワラヒワ、ツグミ、ヒヨドリ、ホオジロ、アトリ、ムクドリ、ユリカモメ、ホシハジロ、コガモ、ハシビロガモ、カルガモ、マガモ、キンクロハジロ、スズガモ、オオバン、コチドリ、オジロトウネン、ハクセキレイ、トビ



オジロトウネン



ホウロクシギ

■八木 ひとみさん (佐賀市)

4月15日 【長崎県野母崎】キビタキ、アカハラ、クロツグミ、コマドリ (声)、キビタキ、ニシオジロビタキ
※渡る鳥たちに会いたくて長崎へ。時折小雨が降る中、クロツグミ、キビタキ、コマドリ (声)、ニシオジロビタキなどに会えて楽しい1日でした。キビタキ、アカハラがたくさん入っているようでした。キビタキ →



アカハラ



クロツグミ



ニシオジロビタキ

■秀島 泉さん (多久市)

1月31日 【自宅裏庭】カワラヒワ、イカル ※今年は仮払い機の調子が悪くて、裏庭の菜の花をずっとそのままにしていたら、種ができた頃にカワラヒワとイカルが食事に来てくれました。ほんの目の前3mぐらいで一生懸命に実をついばんでいました。嬉しい限りでした。



カワラヒワ



イカル

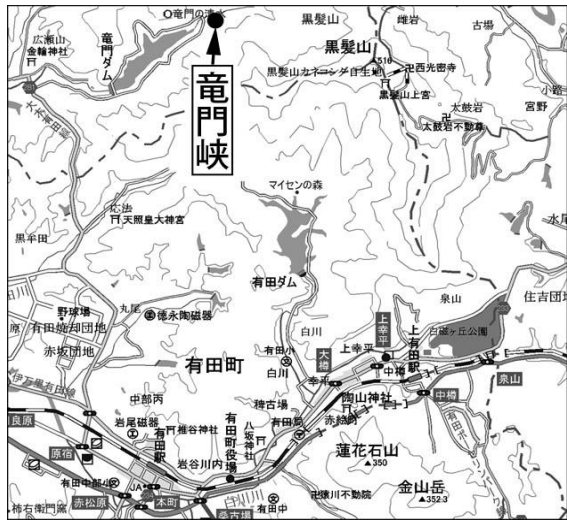




探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

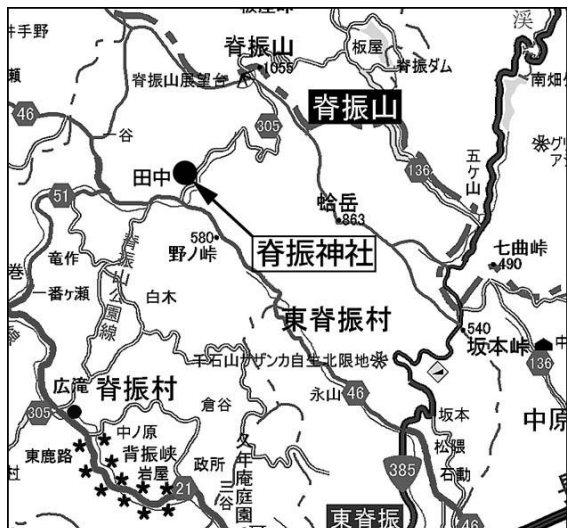
①5月21日 有田町・黒髪山



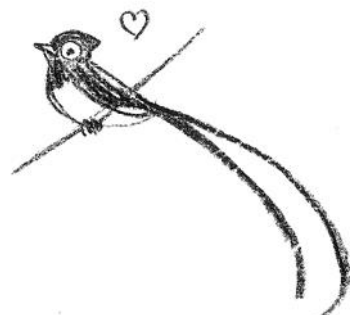
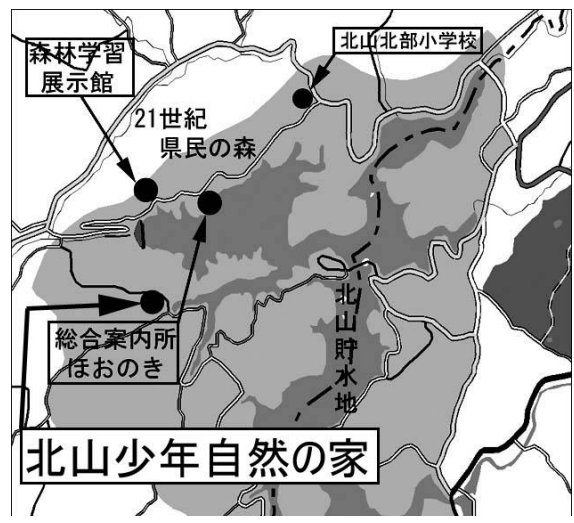
②6月4日 佐賀県支部総会



③6月25日 神埼市・脊振山



⑤7月30日 佐賀市・北山少年自然の家





探鳥会などのご案内 (2023年5月末～7月)

①5月21日(日)

黒髪山探鳥会(有田町)

[集合] 8:00 有田町 竜門ダム林間駐車場
[担当] 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
[見どころ] 黒髪の山で「オオルリ」「アカショウビン」
「サンコウチョウ」などの夏鳥を観察します。

②6月4日(日) 佐賀県支部総会

[集合] 13:00 佐賀市東与賀町の
東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」
支部の活動計画を決める大切な会ですので会員
の皆様のご参加をお願いします。

③6月25日(日)

脊振山探鳥会(神崎市)

[時間&場所] 8:00
神崎市脊振町腹巻の脊振神社下宮駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 夏山で「オオルリ」「キビタキ」「カッコウ」の
歌声を楽しみます。

④7月23日(日)

雲仙・あざみ谷探鳥会(長崎県雲仙市)

[集合] 後日、お知らせいたします。
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 水場を訪れる小鳥たち観察します。
なかなか姿の見れない鳥が間近に見れます。
※雨天中止。
雲仙までレンタカー乗り合わせで行きます。
参加希望者は7月20日までに担当の宮原さん
までご連絡ください。

⑤7月30日(日) 北山少年自然の家 探鳥会(佐賀市富士町)

[時間&場所] 8:00 佐賀市富士町大字関屋の
北山少年自然の家駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 「キジ」や「サンバ」などの里山の鳥たちを
観察します。



観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、
又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡をして下さい。

共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 の NHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長: 宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局: 島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>